

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第120号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成22年6月18日 10時20分ごろ	
発生場所	愛媛県上島町篠塚漁港 オゴ岩灯浮標から真方位284° 7.2海里 (M) 付近 (概位 北緯34° 10.6′ 東経133° 19.4′)	
事故等調査の経過	平成22年7月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官 (広島事務所) を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油送船 第八 ^{ことぶき} 寿丸、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	281-31665愛媛、株式会社天宗	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、篠塚漁港で、船長ほか1人が乗り組み、A重油30klを積載 して、船首約1.0m、船尾約2.1mの喫水で着岸作業中、平成22年 6月18日10時20分ごろ船底が海底に接触して停船した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北東、風力 2、視程 約1～2M 海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約1.2m	
その他の情報	本船は、約20分後、上げ潮により浮上して接岸した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、篠塚漁港で着岸作業中、船長が潮汐 を調査していなかったことから、低潮時に載荷 状態で着岸しようとした際、船底が海底に接触 したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、篠塚漁港で着岸作業中、船長が潮汐を調 査していなかったため、船底が海底に接触したことにより発生したもの と考えられる。	